

協会 大阪府 歯科 保険 医協  
 1-2-33 浪速区 幸町  
 大阪府 浪速区 幸町1-2-33  
 大阪府 浪速区 幸町1-2-33  
 大阪府 浪速区 幸町1-2-33

# 医学会長が「補綴外し」発言

## 患者の願い「保険範囲の拡大」に逆行

「日本では軽々には補綴を外すというわけにはいかないが、そうしない限りの歯科医療費の総枠を拡大することは難しいのではないかと」。8月25日付の『医歯薬新報』によると、7月12～13日に大阪で開かれた第49回日本歯科医療管理学会学術大会で、日本歯科医学会の江藤一洋会長が「歯科再生の道をさぐる」と題して特別講演を行い、そのなかで、個人的な考えと断った上で、補綴を保険から外して歯科医療の活路を見いだす旨の発言をしたことが報道された。

この発言に関わって、8月29日に開かれた日本歯科医師会都道府県会長会議で、岡邦恭氏（大阪府歯科医師会）が「歯科医学会長に個人の意見はない」「大久保会長は保険外併用療養制度に活路を見いだすというが、真意を聞きたい」とネット新聞 Dental Today（9月1日付）と見解を求めた。

大久保満男氏（日歯会長）は「保険外併用療養制度については国民皆保険制度の原則を絶対に崩さないで、連立させて、より可能性を開く方向である。江藤学会長には岡

先生からの指摘をいただいたその日に、日歯の方針と相反する越権行為なので厳重注意をした」と（同紙同日付）と報じられている。

### 「補綴外し」は歯科医療改善の道閉ざす

小澤力副理事長がコメント



協会の小澤力副理事長（政策部長）は、「江藤氏の発言は、お金のない人が補綴処置を受けることが出来なくて良いと言っているようなものだ。歯科界自身が患者・国民の願いに背き、信頼関係を壊す方向に舵をきれば、その先に実現される

患者アンケートでは、「健康保険のきく範囲をひろげてほしい」との回答が79・1％と、約8割もの患者が保険給付の範囲拡大を求めている。格差社会が進行する中で、補綴が保険から外されれば、経済負担が可能な一部の患者しか受けることができなくなる可能性が高い。

### 保団連が抗議声明

保団連は3日、江藤氏の「補綴の保険外し」発言について、患者・国民の立場から「国民皆保険制度を否定するに等しい発言」であり、国民歯科医療を守る医療人として看過できないとして、抗議声明を発表した。声明によると、「補綴の保険外し」は、一部の経済力のある患者を対象とした考え方で、「国民および人類の福祉に貢献することを目的とする」という歯科医学会の目的からも逸脱した主張である」と、同発言への抗議の旨を述べている。

## シリーズ ●●●●●② 税務調査の動向

齋藤 直樹 税理士

最近の税務行政を見ていて大きく変化したと感じるのは、一般納税者向けの税務相談室の大幅な削減と、確定申告時期における巡回指導の導入（不親切な指導）やハイカウンター（納税者を立たせて指導する）の導入である。確定申告時期における相談会場では、当局に雇用された派遣社員の姿が目につく。

これらの現象の原因は、庶民増税による納税者数の大幅な増大にある。2004年から配偶者特別控除の一部が廃止され、05年から老年者控除廃止、公的年金控除削減、06年から定率減税半減、昨年分から定率減税が全廃され、年金申告者が劇的に増加し

## 調査人員の確保と体制強化

### 予告なしの抜き打ち調査も

職員の数が増やすすべはなく、定員はそのままにして相談業務やその他の内務事務を削減し、職員を税務調査や徴収事務に振り向けようという方針を出している。相談業

「税務調査の強化」は現在のところ、私たち税理士の肌で感じるほどに顕著ではない。しかし、最近久しぶりに顧問先へ無予告の抜き

打ち調査があった。税務署員が来た時、社長は在社しておられたのだが、代理人たる私への連絡がつかず、1時間ほどで税務職員は帳簿も何も見ず帰ったそうである。私の

は大いに迷惑なことであった。もちろん、どうしても無予告の調査をせざるを得ない場合も絶対にはないとは言えない。その場合には、裁判所で合状をとって強制調査として行うべきであるし、それができないのであれば、どうしても無予告調査をしなければならぬ理由を説明すべきである。私は税務署に対して、抗議の電話をした折りに理由を明らかにするよう求めたのだが、回答は得られなかった。

私たちが全国で取り組んでいる「納税者権利憲章の制定を求める100万人署名」運動は、税務調査をする場合には書面で事前通知をしなければならぬ。証拠を隠滅される等調査の目的を達成することが著しく困難な場合はこの限りでないが、その理由等を記載した書面を交付しなければならぬ。——という2点を、法律に明記することを求めているわけである（法律に「どこどこ」が大切）。

認知症は高齢との関係が深く同様の医者仲間が一番恐れられているが、70から74歳の発症率は3・6%で、5年の加齢ごとに倍々増加する。アルツハイマー病と脳血管性認知症で73%を超え、27%弱が症状の特徴で他に分類される。予防法としては食事や運動などを含む積極的な生活習慣の改善があげられるが、未病と発病の境界みたいな怪し気な状態の人は自分を含めて近辺に多々見られる。専門医の助言を求めるのは有効だが、積極的に書物などで情報を集め知識として貯え、日常の無意識作業を減らし、自分で企画実行する主体的なスタイルにするのがいいらしい。認知症適齢期の人でも、積極的な社会参加でボランティア活動などをしていける人は、言動にも風貌にも若さがみぎっている。社会参加は自己啓発やほげ防止になるが、使命感だけでなく、家族や健康に恵まれ経済的に安定しているという幸運が条件になる。

## 寺谷一紀の「医療どお〜ナル」スタート

歯科版オンエアは12月から

テレビCM



協会のテレビCMを紹介するチラシ

毎週水曜日 17時45分  
サンテレビで放映

歯科・医科協会は、テレビCM「医療どお〜ナル」を作製し、サンテレビで放映している。放映開始は9月からで、まずは、08年12月、09年の3月、6月、8月の4カ月。歯科の低医療費政策による問題点や、「保険の効く範囲を拡大してほしい」という患者の願いなどについて放映する予定。

## 局地的豪雨による浸水被害について

被害にあわれた先生はご一報を

局地的集中豪雨が府内各地で起こり、被害をもたらしました。被害を受けられた人たちに、心からお見舞いを申し上げます。

同豪雨による浸水被害にあわれた会員の先生におかれましては、協会までご一報くださいませ。（管理部）

### 歯界

認知症は高齢との関係が深く同様の医者仲間が一番恐れられているが、70から74歳の発症率は3・6%で、5年の加齢ごとに倍々増加する。アルツハイマー病と脳血管性認知症で73%を超え、27%弱が症状の特徴で他に分類される。